



朝ドラ「エール」の主人公に学ぶ

校長 西澤 武

長い臨時休校の間、お子さんの健康管理はじめ、家庭学習のご協力ありがとうございます。今後、緊急事態宣言の解除を見据え、学校再開に当たっては、本日配布の分散登校のグループを活用し、3週間は変則的に各クラスをA・B・Cの3つのグループに分けての指導となります。まずは学校生活に慣れること、そして学習面、前学年の未履修分や新学年の内容にも取り組んでいきます。新型コロナウイルス感染防止のため、いろいろな活動が制限される中で学校生活ですが、3密を避け、子供たちの安全・安心を第一に教職員一同取り組んでいきますので、これまでと変わらぬご理解ご協力のほど、よろしく願いいたします。詳細につきましては、それぞれの学年だよりやメールで周知していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

さて、臨時休校中、家で過ごす時間が長くなり、NHK朝の連続テレビ小説「エール」を見ていた人もたくさんいたかと思えます。

物語は1909年、福島県に代々呉服店を営む家族に、待望の男の子が誕生したところから始まります。後に多くの名曲を書いた才能ある作曲家・古山裕一です。裕一は店の跡取りとして育つが、夢想的で周りの人から商売には不向きな子供だと思われれます。しかし、音楽に出会った裕一は作曲に才能を発揮し、またそのことに喜びを覚えます。少年時代から独学で作曲を学んだ裕一は、密かに海外に作曲コンクールに応募し、入賞を果たします。やがて東京に出た裕一は様々な種類の人々と出会い、暗い時代を乗り越えて数多くのヒット曲を生み出します。しかし、戦争が勃発したため、裕一は軍の要請で戦時歌謡を作曲しなければならなくなります。戦後、国は混乱の中から復興し始めます。裕一夫婦は音楽の力で傷ついた人を励ますため、音楽の新時代を作っていきます。

戦前、戦後と激動の時代を生き、様々な苦勞をしながらも音楽の一時代を築いた主人公裕一のモデルが**古関 裕而（こせき ゆうじ）**という人です。

この古関裕而という名前を見てピンときた人もいるかと思えます。この方を今回取り上げたのは、本校、**東洲江小学校の校歌の作者**でもあるからです。代表曲には前回の東京オリンピックの行進曲「オリンピックマーチ」や今でも高校野球のテーマ曲である「栄冠は君に輝く」などでも知られています。きっと今年がオリンピックイヤーだったので、ドラマのモデルとして名前が挙がったのかもしれませんが。

しかしながら新型コロナウイルス感染症のためオリンピックは延期になり、全国に緊急事態宣言が発令され、生活が制限されました。こんな時こそ、主人公のモデル、古関裕而さんの激動の時代に苦勞しながらもそのたびに苦難を乗り越えてきた生き方。この生き方を我々も学び、現在の新型コロナウイルス感染症に苦しまされる世の中ではありますが、みんなで協力し、知恵を出し合い、世界中でこの困難を乗り切っていかなければなりません。

きっと古関裕而さんも我々に音楽を通して「エール」を贈ってくださっているのだと思います。これからもみんなで前を見て明るい未来に向かって歩んでいきましょう！

行事の中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大の関係で、今年度中止が決まった行事についてお知らせします。また、情報が更新されましたら学校だよりでお知らせします。

<中止と決定したもの>

保護者会（延期としていましたが、中止となりました。）

PTA 総会	離任式
サマースクール	個人面談1回目（夏季）中止
水泳指導	足立区学習教室
前期学校公開	中一勉強合宿
体力テスト	児童のスポーツ大会（水泳）
国学力調査	都学力調査
交通安全教室・校外学習（夏前は中止）	
引き取り訓練（全体では行わず、1年のみ 7月4日（土））	

マスク着用のお願い

学校生活が分散登校という形でスタートしました。しかし、感染収束にはまだまだ油断ができません。暑い中ではありますが、マスクの着用をお願いします。

途中で落としたりする子供もいます。マスクを5枚ほど常にランドセルの中に入れておくようにしてください。また、手洗いを一層徹底してまいります。毎日清潔なハンカチを持たせてください。

